



コミュニティ

# めぐり第二

第5号

2023.10

発行：第二地区コミュニティ推進委員会 広報委員会 Mail kouhou.2com@gmail.com  
事務局：〒410-0867 沼津市本字千本 1910-219 第二地区センター内 TEL.055-954-1022

## 沼津港の今昔

高度経済成長期に向かう当時、観光に力を注いだ沼津市を象徴する沼津港（現在の内港）の風景。三津・松崎・西伊豆航路を結び、夏期の大瀬や三津方面には臨時便が出るほど観光客でにぎわった。

◇北岸壁での新造観光船の第十二龍宮丸（伊豆箱根鉄道船舶部）の就航記念行事。



《昭和29年4月》

\*駿豆鉄道当時、  
昭和32年に改称

《昭和41年6月11日》



◇西岸壁には沼津通運倉庫と船舶用燃料タンクが見える。汽船乗り場へは第二十五龍宮丸が接岸し、グラスボートの木造船の龍宮丸が入港している。北岸壁側は戸田への乗船場で、貨客船の第三にしき丸が接岸している。

◇現在：津波から市街を守る展望水門「びゅうお」は沼津のランドマークとなった。湾内めぐりのちどり丸が係留している。松だけは変わらない。



# 増える自然災害 それに向けた対応

大雨、台風、河川氾濫から南海トラフ地震まで…。第二地区コミュニティに住む人々は有事の際にどのような行動をとれば良いのでしょうか？

第二コミは駿河湾に面し、いくつかの川が地域内を流れており、局地的な大雨や台風等により、河川の氾濫や家屋・道路の浸水が発生する可能性があります。

昭和33年9月の狩野川台風、34年9月の伊勢湾台風、49年7月の七夕豪雨など、下水道整備が進んでいない頃には第二コミ内でも被害が出たこともありました。昭和53年には中部浄化プラントができ、下水道も整備されて被害が出る事も少なくなってきました。

しかし、近年何百年に一度と呼ばれるような自然災害が頻繁に起こっています。平時のうちにもどのように行動すれば良いのか、家族や町内で話し合いを持つことも必要では無いでしょうか。自治会や行政で行われている対策の一部をご紹介しますので、参考にしたいと思えます。

## ◆避難情報

令和3年5月に今までの表現から左の図のような表し方となりました。

○警戒レベル1 今後気象状況悪化の恐れのある「早期注意情報」で、災害への心構えを高める段階です。

○警戒レベル2 気象状況悪化の「大雨・洪水・高潮注意報」で、自らの避難行動を確認する段階です。

○警戒レベル3 災害の恐れのある「高齢者等避難」で、

警戒レベル	新たな避難情報等
5	緊急安全確保※1 みんなの命を守るために 避難指示※2
4	避難指示※2
3	高齢者等避難※3 大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
2	早期注意情報 (気象庁)
1	

内閣府 新たな避難情報に関するポスター・チラシ 抜粋

危険な場所から高齢者は避難する段階です。高齢者以外の人も必要に応じ普段



の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

○警戒レベル4 災害の恐れが高い「避難指示」で、危険な場所から全員避難します。

これまでの避難勧告のタイミングで発令されるもので、レベル4が発令された時には避難が終わっているような行動を取らなければなりません。

○警戒レベル5 災害発生や切迫した「緊急安全確保」で、命の危険があり直ちに安全を確保しなければなりません。

第二コミの地域内の風水害時避難場所は、第二地区センター・二小・千本小・二中・西高です。一時避難場所ですので、必要と思われるものは各自持参してください。

## ◆地震・津波

平成23年の東日本大震災では、死者・行方不明者のほとんどが津波の犠牲によるものでした。南海トラフ巨大地震では震度6弱以上の「歩くことが出来ない」ほどの強い揺れに襲われる事が想定されています。また沿岸部には約3〜10分で津波が襲来する事も予想されています。安全を確保し避難する事が必要となります。

第二コミ住民の避難地は、浅間神社、千本小、二中、西高、一小です。避難地は津波危険地域や山・崖崩れ危険地域の人が、警戒宣言発令時に自分の身を守るためにあらかじめ避難を行うための場所であり、防災倉庫があつて、市の職員が配置されます。

一方、突発地震にともなう津波からの緊急避難は、津波避難ビルや津波避難路等を利用して「少しでも早く、少しでも高いところ」へ逃げてください。

また災害後には第一地区センターには軽症患者の治療が行われる救護所が設置され、聖隷沼津病院が救護病院として医療活動が実施されます。

## ◆防災訓練

各自治会では「自助・共助・公助」の考えの元、有事に備えて各種訓練や対策を日々行っています。

本町連合自治会では炊き出しの予行訓練として、かまどで調理をしています。

港湾区自治会では実際に消火器を使つての消火訓練を行いました。

松下町自治会では令和3年に独自の避難マニュアルを作成し、全戸配布を行いました。これらはほんの一例で、その他の自治

会も防災指導員を中心とした様々な訓練を行っています。



### 令和五年度 第二地区四会合同総会

5月14日(日)、第二地区センターにおいて、当地区・社会福祉協議会、青少年を健やかに育てる会、防犯まちづくり推進協議会、コミュニティ推進委員会合同での通常総会が開催されました。

### 千本海岸一斉清掃

青少年を健やかに育てる会、3連合自治会の主催による第二地区千本海岸一斉清掃が、7月2日(日)早朝より行われました。550名を超える地域住民の皆様方のご協力によって大変きれいな海岸となりました。ありがとうございました。



### 新旧役職者懇親会

8月6日(日)、第二コミュニティ令和5年度新旧役職者懇親会が、港湾の「京丸」において27人が出席のもと、開催されました。飲食をしながら会話が弾み、良い親睦の場となりました。

### 「コミュニティフェスティバル

10月22日(日)に「コミュニティフェスティバル 住民のつどい」が開催されます。地域住民や地区センター利用者によるステージの部だけでなく、館内外において大人も子供も楽しめるような催しを複数企画しています。



### 浅間神社大祓と 輪くぐり市

本町地区には脈々と続いている恒例行事があります。浅間神社の夏越大祓とその周辺で行われる輪くぐり市。この二つの行事は毎年6月30日の夕刻から始まるので、どこからともなく人が集まり、一気に賑わいを見せる地域住民には特別な日。17時から19時までの短いながらも内容の濃いお祭りです。

神社で茅の輪をくぐった後、地元商店開催の輪くぐり市で買い物をしつつ、

演舞の披露を鑑賞。福引や輪投げなど大人も子供も大いに楽しめる構成になっています。会場ではこんなにも人がいるのかと思うぐらいの熱気に包まれた時間が生まれます。この短時間で500人を超す来場者



で埋め尽くされた会場では、全国高校生太鼓甲子園最優秀受賞経験もある飛



### 地名アラカルト⑤

―砂丘列と緑町の誕生―

千本砂礫州の地形界は草刈川と子持川の合流点、三又から下流の観音川に平行な崖で、西寄りの墓地側に見られる。千本砂丘は海寄りの低い砂丘列、本光寺寄り、浜の観音さんの長谷寺寄りの高い砂丘列の斜行が特徴的である。緑橋の川底の深さ3以上が砂で、広い海浜の風下に古墳時代の遺跡を覆い、厚さ10m程の風成砂丘が形成された。地区センターの隣、字松下

龍高校太鼓部の演舞で始まり、地元よさこいチーム、熱風舞人の新作演舞で締めくくられ、来場者の盛り上がり最高潮に達しました。熱気を感じる時間は太鼓のアンコール後でも終わらず、音と演舞はよさこいへと引き継がれフィナーレを迎えます。本町地区では毎年このような行事を浅間神社の夏越大祓と共に輪くぐり市として盛大に行っています。来年は日曜日の開催となります。

林際に戦後本光寺が移転し、南側の松原内の首塚も、甲州道の一画に移設・整備された。天保絵図では松下七反田・下一丁田付近が湿田で、長谷寺門前の南側には狩野川による洪水被災後の永明寺の仮設と水田、不動塚など小円墳が点在する畑地であり、観音川左岸の字竹之後(現千本緑町二丁目・三丁目)には湿田が広がっていた。夕風

### サマーコンサート

8月27日(日)地区センターの大会議室で、ウクレレ合奏、ハーモニカ合奏、ピアノ連弾、オカリナ合奏、弦楽四重奏、フルートデュオ演奏と、コロナによる使用楽器の制限が緩和され多様な演目が行われました。客席も今までより多く用意され、大勢の皆さまが楽しんでいました。



### おすすめお散歩コース

今年の夏はとても暑かったですね。ようやく朝夕が涼しくなってきたこの季節、ちよこつと散歩に出てみたくて、今回は地元密着型メディア「沼津つーしん(通称ぬまつー)」とのコラボレーション企画として第二地区のおすすめお散歩コースを紹介します。

午後5時の千本浜、ぬまつーのライター「しまやん」こと渡会さんと合流。まずは沼津のシンボル、千本浜海岸。子供の頃から海水浴といえどココ。今は海の家こそないので、無料のシャワーがあります。夕方になるとたくさんの方が散歩に訪れます。松原と防波堤は隣の富士市まで10キロ以上続いています。晴



れていると富士山もきれいに見ることができます。

ここから海を右手に見ながら沼津港に向かって「潮の音プロムナード」を歩きます。緑の芝

生と松林、とても癒される空間「港口公園」です。公園の目の前には「びゅうお」。沼津港を守る水門であると同時に展望スポットでもあります。入場料は100円(小中学生50円)しかも当日なら何回も出入り可能です。ここから見る富士山や駿河湾の夕日はとてもきれいです。1時間半ほどの散歩でしたが、辺りも暗くなり、海には夜釣りの漁船



の灯りが見えてきました。一緒に巡ってくれたしまやんは、「沼津の海を感じられる最高のお散歩コースでした。沼津市民全員に知ってもらいたいですね!」と大満足。途中に立ち寄った公園などの記事は「沼津つーしん」に掲載されています。ネットで「ぬまつー」と検索してください。次のぬまつーとのコラボレーション企画もお楽しみに!



### ぬまづの宝100選 in 第二

#### 18 千本松原

狩野川河口から田子の浦にかけて広がっています。松の常緑と富士山、駿河湾に沈む夕陽が美しい景勝地。日本の白砂青松100選の一つ。(引用…ぬまづの宝100選)



### 地区センター 図書室通信

第二地区センター内には、図書室が開設されています。

沼津市立図書館と共通の利用者カードで、1人10冊まで14日間借りることができまます。皆さまのご利用お待ちしています。



### 編集後記

今回は増加する自然災害に向けての対応を共有し、地域住民の安心、安全を守る対策を掲載しました。

危険箇所、避難情報、避難場所、緊急医療機関等を確認して家族で話し合っておきましょう。これを機会に防災について再確認していきましょう。

催し物等も多数実施されています。皆さまの参加が第二コミュニティの発展に繋がります。宜しくお願いします。